

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ばれっと		令和8年 2月			
	チェック項目	はい		工夫している点	
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動エリアの構造化をし適切なスペースが確保できるように工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準以上の職員を配置し、個々のニーズに対応できる体制にしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		移動できるパーテーションを活用し必要に応じて環境を調整できるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃・消毒を徹底しています。気温・湿度などの空調管理をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別に活動ができるスペースや個室で過ごせる環境を提供しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援計画に沿って、会議・共有等を行っています。（日々のミーティング・全体ミーティング）
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表の集計結果を職員で共有し、結果をもとに業務改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日、職員同士で話せるミーティングの時間を設けており、業務内容についての改善に努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人内で順次行えるように検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間の研修計画をもとに、施設内研修・外部研修の実施をしています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表しています。https://utsuifukushikai.com/page-6/
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の活動の中で個別のアセスメントを行い、また、面談で保護者様のニーズを聞き取り、必要な支援を協議したうえで個別支援計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援について、日々のミーティングや共有から、必要に応じて適切な支援計画作成のための検討をしています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿った支援の協議をしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		個別の行動について分析する際にアセスメントシートや評価キッドを使用しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ライフステージに沿って、5領域から検討できる支援について検討しています。家族支援・移行支援・地域支援についても個別のケースで必要なサービスの提供を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別のスケジュールに沿って、チームでプログラムを立てています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の記録から、固定化しないプログラムの構成に配慮しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別・集団活動を取り入れたプログラムの設定をしています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、個別のスケジュール・課題の設定・共通理解のミーティングを行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、終了後の振り返り・記録の記入を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録をもとに、職員で検証・改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的な面談・モニタリングを行い必要に応じたモニタリングをしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		1自立支援と日常生活の充実のための活動 2創作活動 3地域社会との交流の機会の提供 4余暇活動の提供について、組み合わせさせて支援を提供しています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別のスケジュールやコミュニケーションブックを使って、自己選択ができるようにしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		適切な職員が参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と密に連携できる体制にしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて関係機関と密に連携できる体制にしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現在、新1年生でのご利用の方はおられません。必要に応じて連携できる体制にしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要な情報の資料を作成し提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて連携できる体制にしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域・社会資源を使った活動を取り入れています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の様子を細かくお伝えできるように、職員で共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者サロンの開催、法人内での保護者向け研修会を開催しています。ご参加お待ちしております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や規定の改定時など変更があった場合等、必要に応じて説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様との意思疎通を図り、意向に沿ったサービスの提供ができるようにしています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画についての説明後、保護者様の同意を得て署名をいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談以外でも必要に応じて安心して相談できる体制にしています。お気軽にご相談ください。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はありません。保護者サロンや親子で参加できるイベントを開催し交流できる機会を提供しています。法人内できょうだいイベントも企画しておりますので、ぜひご参加ください。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口と第三者委員会を設置しております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		法人ホームページや、活動の様子を発信しています。 <a href="https://utsuifukushikai.com/page-6/">https://utsuifukushikai.com/page-6/</a>
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に確認させていただき、取扱いに充分留意しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		本人が分かる伝達方法をアセスメントし、必要な手掛かりを使って伝えています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人全体で収穫祭を開催しています。ご来場お待ちしております。(11月)
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し必要な研修・訓練を定期的に行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		通常の訓練とは別に、業務継続のために必要な研修・訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談時に服薬については聞き取りを周知するようにしています。てんかん発作があった場合の対処法や保護者様への連絡等は密にご相談させていただいています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に把握し対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理委員会を設置し、年間計画に基づいて訓練・研修を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご家族様からの情報を整理し、安全管理委員会の中で個別に留意が必要な場合も職員で周知徹底しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		いつでも記録が取れるように書式と場所を工夫し、職員で周知しています。再発防止対策についてもその都度検討しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、ミーティングで協議する機会を設けています。法人全体で虐待防止研修を開催しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、ミーティングで協議する機会を設けています。	